

## 【RST 認定・登録システム】 への入力マニュアル

### ▶ 事前手続き

- ① 自施設 RST 内で学会認定を希望するか検討
- ② 呼吸療法医学会または呼吸ケア・リハビリテーション学会 HP にアクセスし、RST 登録のバナーをクリック→リンク・ページにて『RST 認定・登録のための規程』を確認し基準を満たしているか確認
- ③ 同ページより「登録申請書」および「入力責任者情報ファイル」を DL
- ④ 施設管理者（院長）の承認
- ⑤ データ入力責任者を選出し、UMIN ID を取得（すでに有していれば再取得は不要）
- ⑥ 学会事務局へ登録申請（申請書の PDF および入力責任者情報ファイルをメールに添付して事務局宛送信）
- ⑦ メールにて返送される『認定完了通知』を確認
- ⑧ しばらく後データ入力用 URL および PW を記載したハガキが UMIN より送付される
- ⑨ UMIN-ID と登録用 PW（UMIN-ID の PW ではなく）を用いて UMIN-INDICE の入力画面へエントリーし、昨年度の活動内容およびアウトカムを入力（必須入力項目と任意入力項目がある）

### ▶ 入力手順

『メニュー』より

#### ① 施設登録

RST を設置する各施設の現状を登録する（すべて必須入力項目）。

1. 病院の機能：それぞれの施設の地域での役割を入力する、該当のチェックボックスがない場合は「その他」にチェックを入れ自由記載する。
2. 研修指定病院：臨床研修指定病院になっている場合は YES にチェックする。
3. ベッド数：認可病床数を記載する。
4. ICU ベッド数：同一施設内に複数の ICU を有する場合はその合計を記載する。

\*施設登録を完了すると他のデータ入力が可能となる。

## ② 構造・過程登録

昨年度（前年 4 月 1 日から本年 3 月 31 日まで）のデータを入力する。

1-14 については該当箇所にチェックを入れ、人数または件数を記入する。

1-13 が必須入力項目。

5. RST の目的：「その他」に該当項目がない場合は優先順位を入れずに次へ進む。

11. VAP バンドルは日本集中治療医学会の 2010 改訂版あるいは米国 IHI の人工呼吸器バンドルのいずれを用いても可とする。

15. 物品変更・統一への働きかけ：

記載例) 気管切開チューブを統一し、4 種類あったものを原則 1 種類とした。その結果チューブのコストが 1 本あたり 1000 円程度低下し、年間でおよそ 10 万円のコスト削減ができた。

16. 病院勤務医の負担軽減：

記載例) 入院患者の持ち込み薬処方について薬剤部で鑑別を行った際に薬剤師が代行入力している。担当医が各薬剤について続行・中止のチェックを入れるだけ直ちに処方が発行される。

## ③ 活動記録登録

昨年度（前年 4 月 1 日から本年 3 月 31 日まで）のデータを入力する。

チェックボックスのある項目は該当箇所にチェックを入れ、数値を記入する。データがない場合は、「データなし」にチェックを入れる。

1-5、7、13、18-20 が必須入力項目。

1,2. その他が空欄でも次へ進める。

7. 病院全体のデータと RST が介入した症例のデータの両者を記入する。

ただし病院全体のデータがない場合は「データなし」をチェックして次へ進める。

13. VAP の発生状況について、JHAIS・JANIS・WHO いずれかの基準で調査したデータを入力する。複数該当する場合は、それぞれを入力する。なおすべての項目において「データなし」でも次に進むことができるが、いずれかの値を入力することが望まれる。